

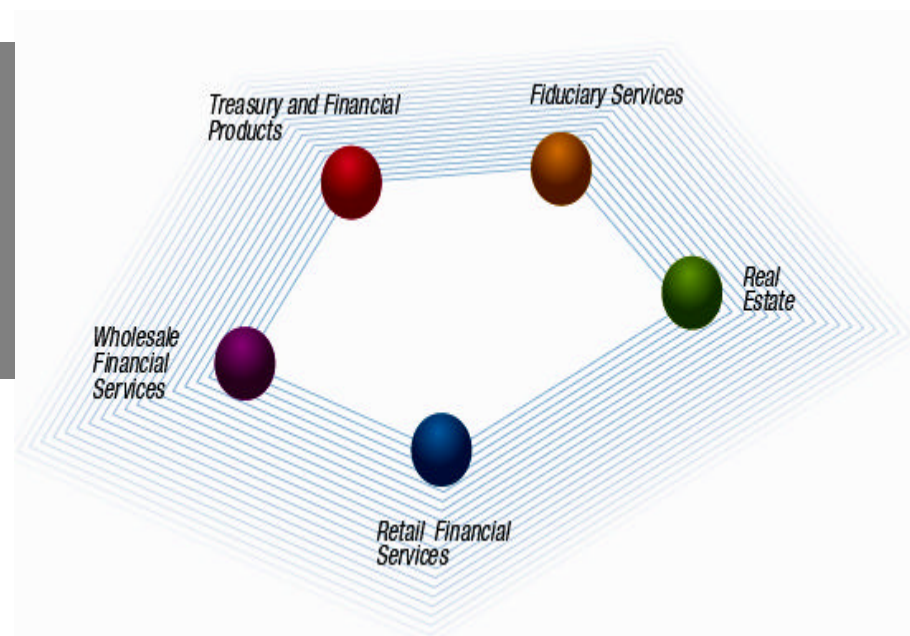


SUMITOMO TRUST 住友信託銀行

**Sumitomo Trust & Banking
Co., Ltd.**

2002年度 決算説明会

2003年6月5日



目次

2002年度決算について	
▶ 2002年度決算の概要【単体ベース】	----- 1
▶ 部門別損益の状況	----- 2
▶ 預貸粗利鞘の状況(国内3勘定ベース)	----- 3
▶ 信託事業の業容推移	----- 4
▶ 2002年度不良債権処理コスト内訳	----- 5
▶ 有価証券の状況	----- 6
ダウンサイドリスクの縮減	
▶ 不良債権額の推移	----- 7
▶ 2002年度下期債務者区分の異動	----- 8
▶ 要管理先債権等に対する引当金の状況	----- 9
▶ 破綻懸念先以下債権の状況	----- 10
▶ ポートフォリオの入れ替え	----- 11
▶ ローンポートフォリオの最適化	----- 12
▶ 保有株式の売却	----- 13
自己資本	
▶ 自己資本の状況	----- 14
通期予想	
▶ 2003年度決算予想の概要【単体ベース】	----- 15
収益力向上策	
▶ 収益力向上策	----- 16
▶ 収益力向上策	----- 17



2002年度決算について



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

✦ 2002年度 決算の概要 【単体ベース】

(億円)	2002年度	2001年度	前年度比
修正業務純益	1,588	1,502	86
経費 ()	1,163	1,214	51
𠄎人件費 ()	474	492	18
𠄎物件費 ()	639	668	29
貸出関係損失 () *	859	1,054	194
株式等関係損益	1,277	1,101	176
その他臨時損益	135	23	111
経常利益	683	676	7
特別損益	363	26	389
特別利益	266	84	182
特別損失 ()	629	57	572
当期利益	565	422	143

* 「貸出関係損失」 = 銀行勘定、信託勘定の不良債権処理額（特定海外債権引当勘定純繰入額を含む）及び、一般貸倒引当金純繰入額の合計。

部門別損益の状況

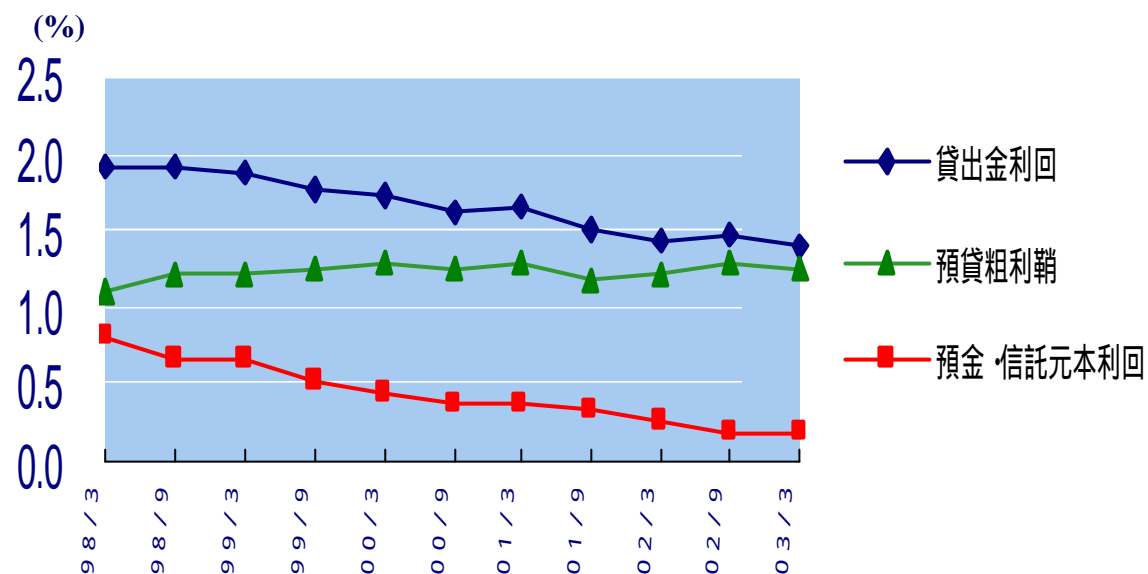
(億円)	2002年度実績		2001年度実績		前年度比増減		J T S B	J T A S	連結子会社 業務純益(*)
	粗利益	純利益	粗利益	純利益	粗利益	純利益	再信託報酬 支払額	支払手数料 支払額	
ホールセール事業	880	662	1,407	613	55	85			5
リテール事業	582	36							
マーケット資金事業	731	640	666	576	65	64			
受託事業	408	189	460	221	52	32	135	47	34
年金・投資マネージ	295	158	293	147	2	11	(+6)		
証券管理サービス	35	6	39	9	4	3	81		0
証券代行	78	26	129	65			(+1)		
							(+5)		
証券代行	78	26	129	65	51	39		47	12
不動産事業	152	61	185	92	33	31			1
修正業務純益	2,752	1,588	2,717	1,502	35	86			47

(*) 連結子会社業務純益

= 経常利益 - その他経常利益

()内の数字は、前年同期比増減

✦ 預貸粗利鞘の状況 (国内 3勘定ベース)

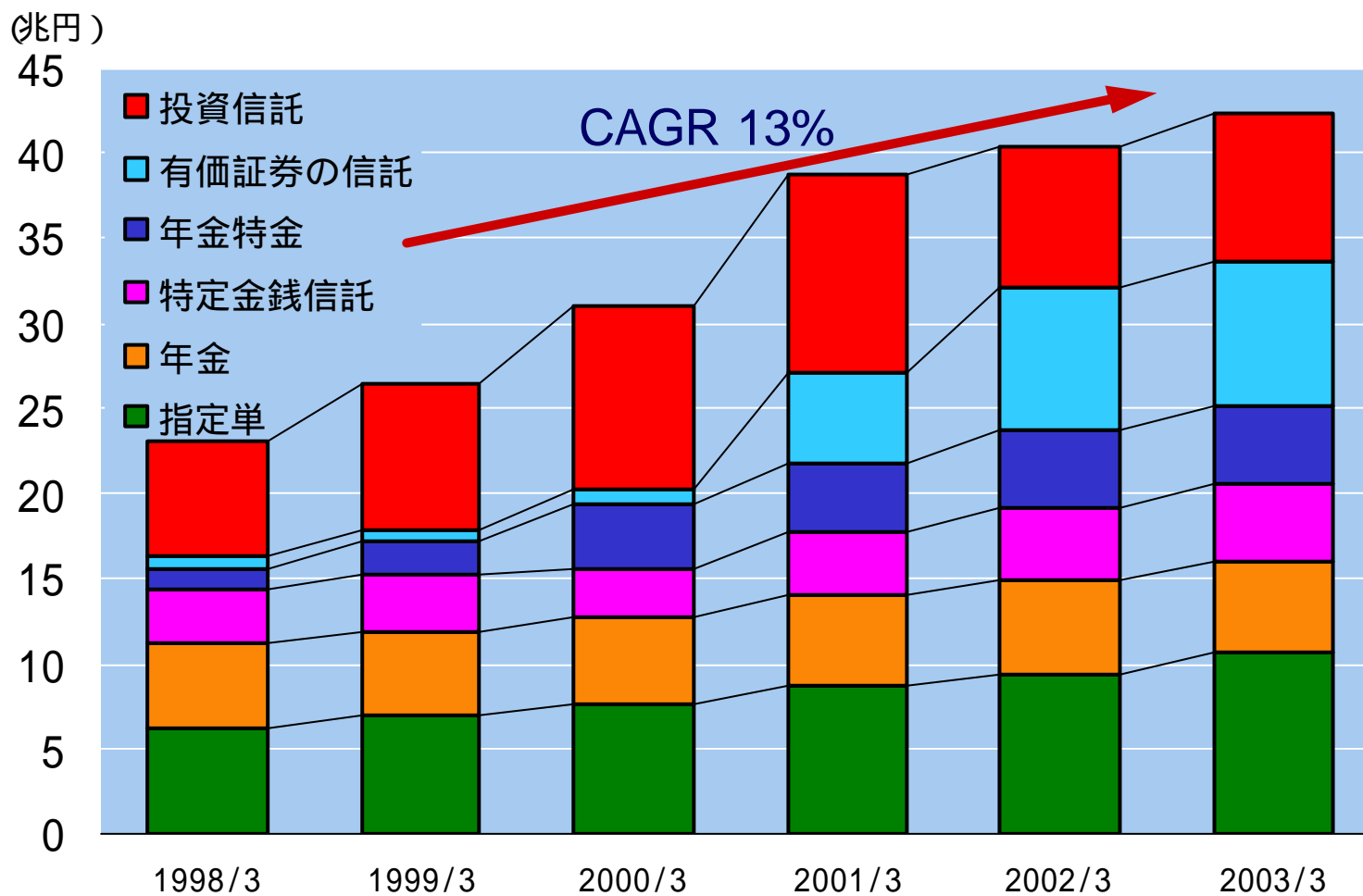


	2002年度		2001年度
		前年度比	
資金粗利鞘	0.95	0.01	0.96
資金運用利回	1.22	0.08	1.30
資金調達利回	0.27	0.07	0.34
預貸粗利鞘	1.24	0.04	1.20
貸出金利回	1.41	0.04	1.45
預金・信託元本利回	0.17	0.08	0.25
(参考) 有価証券利回	1.04	0.10	1.14

(*) 3勘定 = 銀行勘定、元本補填契約のある合同運用指定金銭信託勘定、貸付信託勘定

✦ 信託事業の業容推移

▶ 受託財産残高推移 (未残)



2002年度 不良債権処理コスト内訳

▶ 貸出関係損失

(億円)	2001年度 処理額	2002年度 処理額	上期	下期	下期償却・引当の概要
個別償却・引当額	991	807	199	608	
信託勘定処理額	239	203	165	37	2002/9期末処理分が中心 2003/3期末自己査定による処理額 は約12億円であり、2003/上期 信託勘定処理額に反映
銀行勘定処理額	752	604	34	570	
うち個別貸倒引当金純繰入額	485	30	34	64	引当率引上げ 3.0% 5.6% (貸倒実績率算定期間：2年 3年) 繰入増約+160億円 残高減少による取崩し等 約120億円
一般貸倒引当金純繰入額	62	51	10	40	
処理コスト合計	1,054	859	209	649	

償却・売却等、最終処理に関わるもの約230億円
債務者区分悪化に関わるもの約430億円
区分改善による引当金取崩し益約100億円

✦ 有価証券の状況

▶ 有価証券の状況 (単体ベース :償却後 / 時価のあるもの)

	取得原価			評価損益			
	(億円)	2003年3月末	2002年9月末	増減	2003年3月末	2002年9月末	増減
株式		5,887	8,403	2,516	636	1,181	545
債券(円債)		10,948	10,645	303	84	80	4
その他(外国国債等)		15,713	31,529	15,816	356	714	358
計		32,549	50,577	18,028	195	386	191

	取得原価			評価損益			
	(億円)	2003年3月末	2002年9月末	増減	2003年3月末	2002年9月末	増減
株式		1	1	-	0	0	-
債券(円債)		1,178	1,399	221	39	52	13
その他(外国国債等)		137	644	507	7	4	3
計		1,317	2,045	728	47	57	10

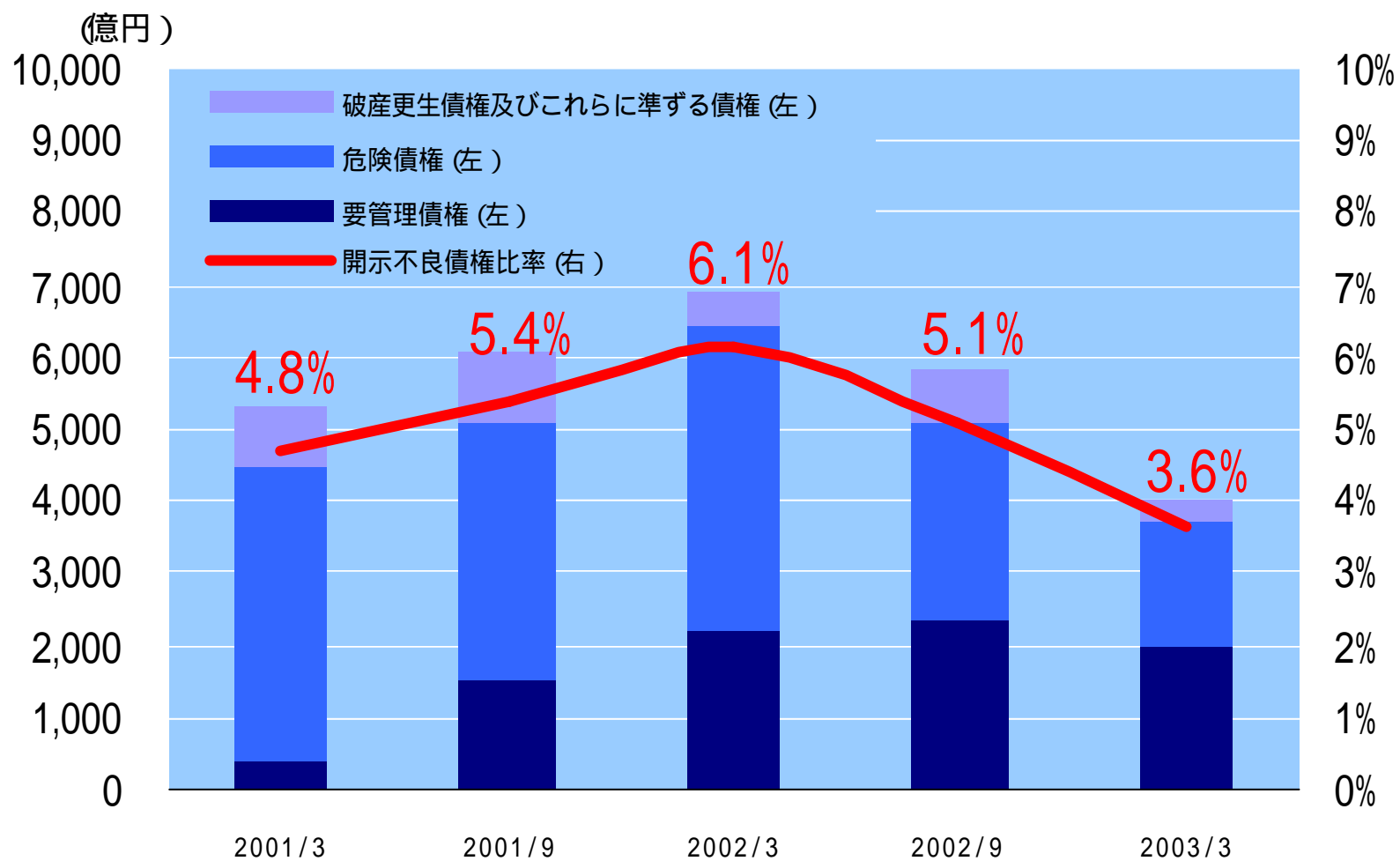
ダウンサイドリスクの縮減



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

不良債権額の推移



銀行 元本補てん契約のある信託勘定合計

2002年度下期 債務者区分の異動

▶ (銀行 元本補てん契約のある信託勘定合計)

(2002年度下期)

(億円)	2003/3末残	2002/9末	2002/9末比	増減要因				償却・回収
				区分悪化(+)	区分悪化(-)	区分改善(+)	区分改善(-)	
破産更生等債権	290	701	411	48	—	—	1	458
危険債権	1,767	2,737	970	443	30	0	240	1,143
要管理先債権	2,095	2,772	677	227	369	199	609	125
要管理先債権以外の要注意先債権	7,033	8,743	1,711	1,531	272	302	1,959	1,313

✦ 要管理先債権等に対する引当金の状況

< 銀行勘定一般貸倒引当金 >		2003年3月末	2002年9月末	増減
要管理債権	要管理先債権	25.0%	25.7%	0.7%
	要管理先を除く 要注意先債権	5.6%	3.0%	2.6%
正常債権	要注意先債権 (要管理先を含む)	9.5%	7.5%	2.0%
	正常先	0.1%	0.1%	-

金融再生法基準

自己査定基準

要管理先債権の非保全部分に
対する引当は49.0% (2002年9月
末) から 50.7% (2003年3月末) へ



✦ 破綻懸念先以下債権の状況

(2003年3月末)

下段は2002/9末比増減

(億円)	銀行勘定				信託勘定			
	残高	分類	分類	分類	残高	分類	分類	分類
破綻先債権	147	12	135	0	58	0	58	0
	52	0	53	0	0	0	0	0
実質破綻先債権	72	3	68	0	12	0	11	0
	433	29	403	0	30	2	28	0
破綻懸念先債権	1,597	518	848	231	168	13	114	40
	827	318	373	135	142	3	101	45
合計	1,817	533	1,052	231	239	13	185	40
	1,208	349	723	135	172	1	128	45

(参考) 分類債権のうち不動産担保

銀行勘定 破綻・実質破綻先 143億円、破綻懸念先 801億円

信託勘定 破綻・実質破綻先 56億円、破綻懸念先 64億円

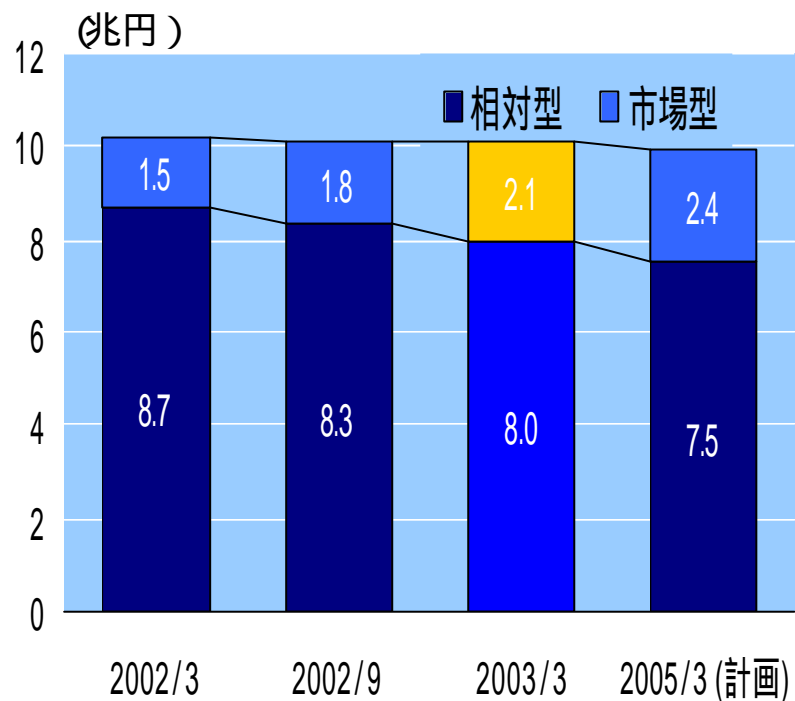
合計 = 1,064億円

1,064 (不動産担保) × 10% + 271 (分類) = 377億円

破綻懸念先以下 分類
合計271億円

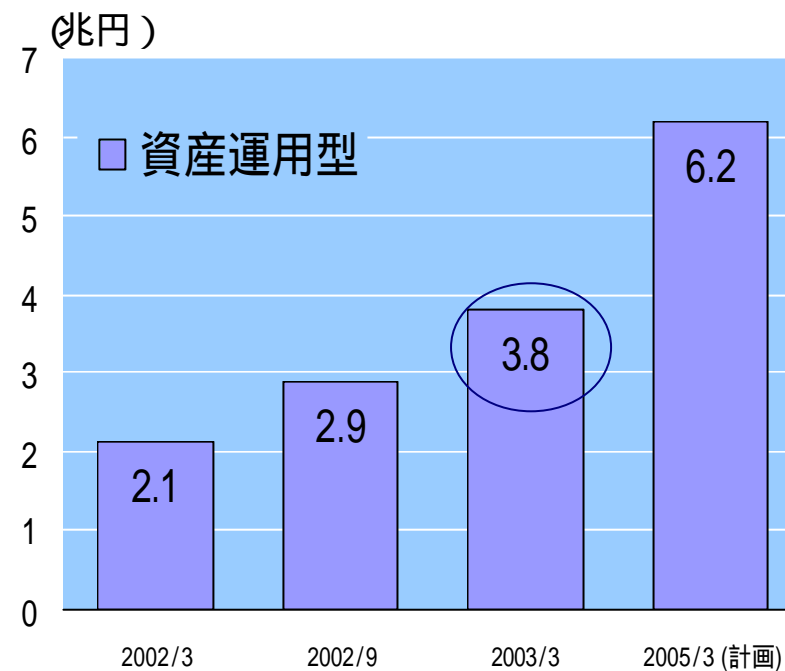
✚ ポートフォリオの入れ替え

▶ オンバランス (リスクアセット算入)



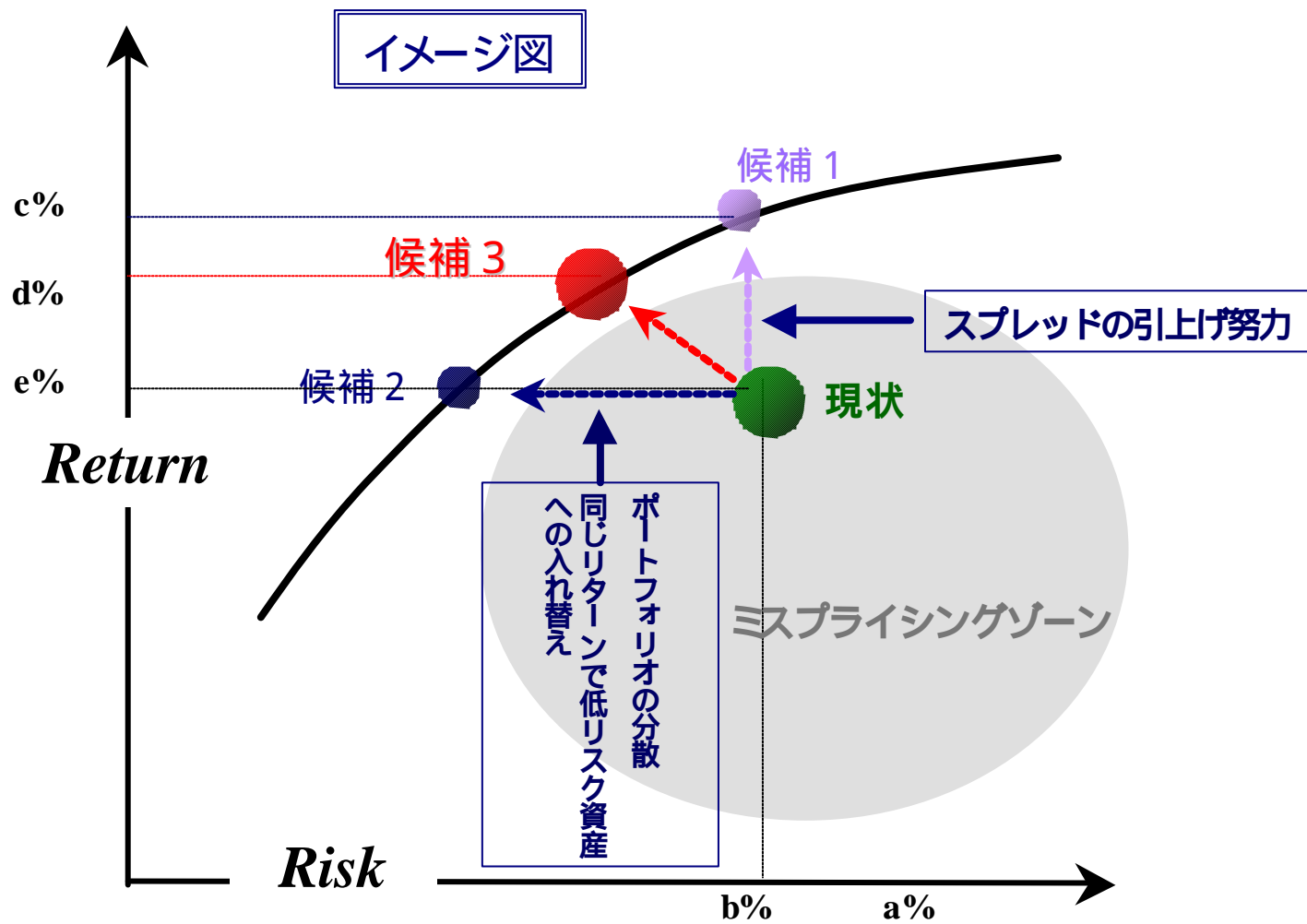
- ▶ アーニングアセットの維持
- ▶ 市場型ローンのウエイト増
- ▶ ポートフォリオの分散
- ▶ 利鞘の改善

▶ オフバランス (リスクアセット不算入)



- ▶ 受託から販売までのトータルサービス
- ▶ 幅広い投資家層 - 事業法人・金融法人

✦ ローンポートフォリオの最適化

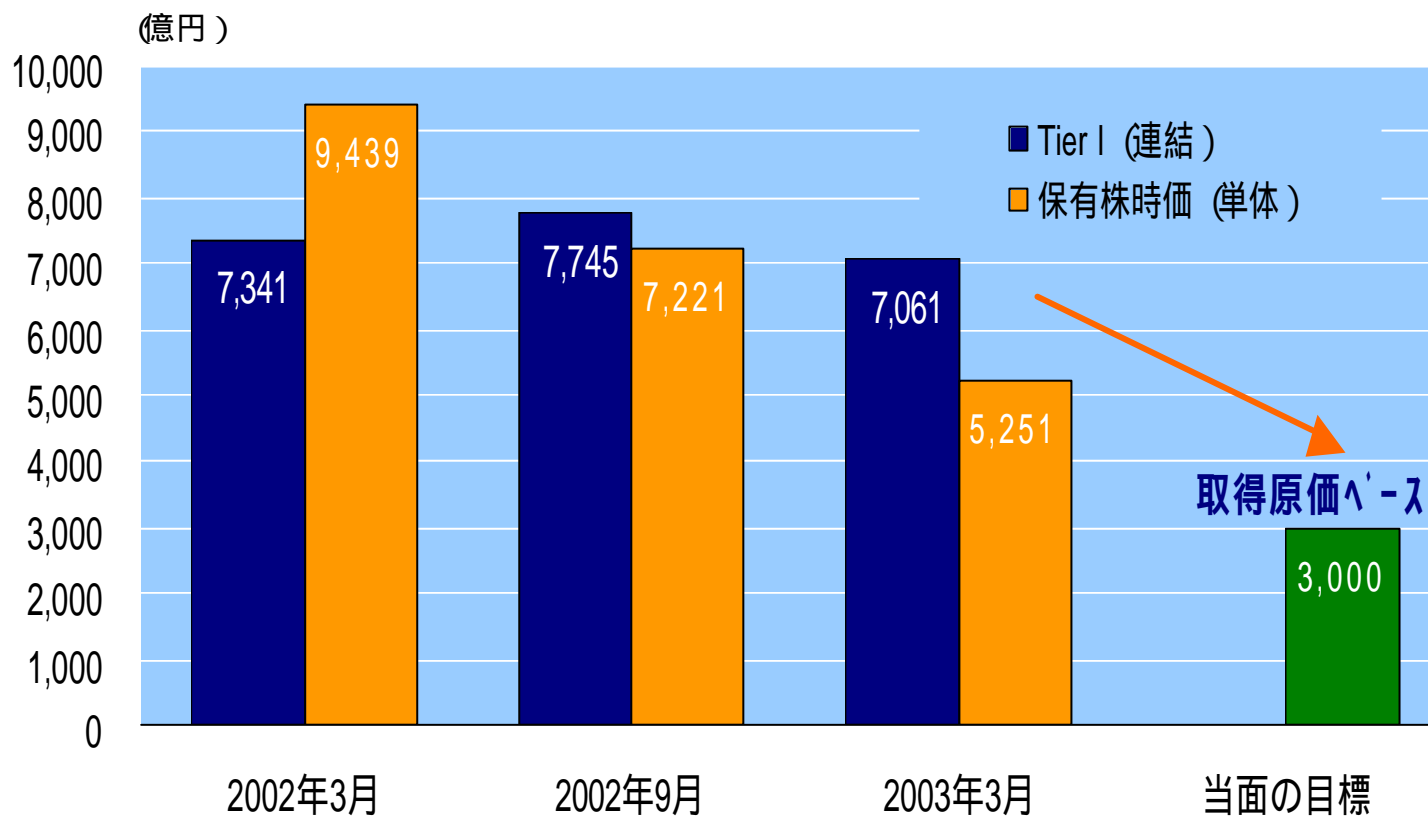


保有株式の売却

▶ 2002年度

保有株式 約 3,250億円(*)を売却 (2002年度目標 :2,000億円)

(*)退職給付信託への拠出を含む)



自己資本

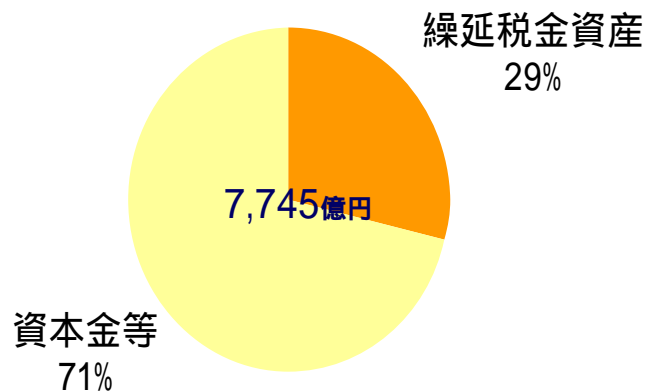


SUMITOMO
TRUST

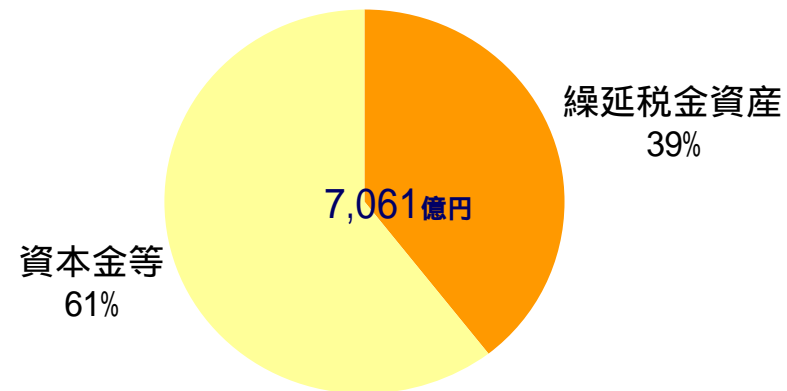
住友信託銀行

自己資本の状況

2002年9月末連結Tier1



2003年3月末連結Tier1



(億円)	2002 / 3月末 実績	2002 / 9月末 実績	2003 / 3月末 実績
修正業務純益	1,502	871	1,588
貸出関係損失	1,054	209	859
当期利益	422	201	565
単体剰余金	1,455	1,560	794
Tier1 (連結)	7,341	7,745	7,061
評価差額金	570	237	112



通期予想



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

✦ 2003年度 決算予想の概要 【単体ベース】

	2003年度予想 (A)	2002年度実績 (B)	増減 (A) - (B)
(億円)			
修正業務純益	1,450	1,588	138
貸出関係損失 ()	600	859	259
銀行勘定 () (特海債、一般貸引込み)	500	656	156
信託勘定 ()	100	203	103
その他臨時損益	150	1,413	1,263
経常利益	700	683	1,383
当期利益	420	565	985



収益力向上策



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

✦ 収益力向上策： (競争力の源泉 = コア・コンピタンスの確立)

▶ 競争力の源泉

付加価値創造

スケールメリット

マネジメント
テクノロジー

▶ コア・コンピタンスの確立

- ◇ 戦略的パートナーシップ
- ◇ ソリューション・ビジネス
- ◇ コンサルティング・スキル
- ◇ 銀信統合型RM
- ◇ 新型運用商品と確実な管理ノウハウ

- ◇ オープンプラットフォーム型JV
- ◇ アウトソーシング

- ◇ 事業部門制
- ◇ SVA (Share holders Value Added)
- ◇ 自己変革を促す人事システム
- ◇ ローンポートフォリオ・マネジメント



収益力向上策：（明確な事業モデルに基づく成長プランの遂行）

「資金事業」を基盤とし、「資産運用」と「情報プロセッシング」を両輪とする事業モデル

ホールセール事業

- ◇ 相対型与信 ・ポートフォリオの変革
- ◇ 市場型与信 ・顧客当たりワイ-収入割合50%超の実現
- ◇ 資産運用型 ・アセットハンティング力の強化
- ◇ 資産運用型 ・新たな金融仲介機能

リテール事業

- ◇ 一般リテール ・資産運用メインバンク
- ◇ プライベートバンキング ・プライベートバンカーという職種の確立
- ◇ 事業全般 ・低チャネルコスト

受託事業

- ◇ 年金事業 ・「制度コンサル+マルチプラン」
「運用コンサル+マルチプロダクト」
- ◇ カストディー ・JVプラットフォームによるスケールメリット

不動産事業

- ◇ 不動産トータルソリューションサービス
- ◇ 不動産アセットマネジメント
- ◇ 不動産カストディ



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。